

2018年度



活動報告



コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを基に、「地域に根差し、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行うセンターです。学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、生きた学びを得て成長するようにサポートしています。2018年度の活動の一部を、以下の通り報告します。

CCC「コラボメッセ」

12月9日に、CCCに所属する学生団体(19団体)と企業、行政機関、NPOなど(28団体)が一堂に会するイベント「コラボメッセ」を開催しました。第4回目となる今年度は、他大学の学生団体(4団体)も参加し、例年よりもさらに交流を深めることができました。



CCC開設科目

CCCでは地域の社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、様々な体験学習ができる授業を開講しています。

「CCCキズナプロジェクト」は、まちの活性化や、社会が抱える問題解決のために、実際にアクションを起こすプロジェクト型授業です。今年度の授業では、NPO法人楽歩(らふ)と連携し、楽歩の活動を多くの人に広めるための企画を立案・実施しました。



学生の活動

CCCでは学生の活動を支援しています。
今年度も様々な分野で活躍しました。

●佐久島活性化プロジェクト



2017年度から西尾市佐久島振興課より委託を受け、佐久島での活動に携わっています。主な活動のサツマイモ収穫の他にも、特産品の商品化や観光プログラムにも関わせていただいています。提案した観光プログラムは、実際に旅行会社にて販売される予定です。

●(株)デンソー社会貢献活動への参加



(株)デンソーの社会貢献活動に、多くの学生がボランティアとして参加しています。その活動の中の1つに、緑の大切さを住民の方々に知ってもらう環境活動があります。参加した学生は、住民の方々と一緒に高速道路周辺の樹木の手入れを行います。また、酸素の吸収率を測定し、地域のみなさんに説明をしました。